

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月22日			
平成15年度	事業コード	15130	電話	042(770)6600
担当部課名	生涯学習部	橋本図書館		管理 係
事務事業名	図書館サービス経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	13年度
施策名	第1施策	生涯学習活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

図書館法、著作権法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
図書館における各種サービスは、利用者への生涯学習の推進を図って行くものである。複写サービスについては、著作権法に認められた範囲内において、利用者に館内の図書資料を複写用に提供し、利用者の利便性を図って行くものである。特に、館内には、貸出対象外(館内利用のみ)の図書資料が約15,000点あります。	市民をはじめとした橋本図書館利用者
	対象数 約100万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
図書館サービス経費としては、次のサービス事業を実施した。 複写サービス・・・(コピーサービス・・・コピー枚数 74,368枚) 視力障害者サービス・・・(録音図書100巻購入・・・貸出数 1,087人) AVサービス・・・(CD及びビデオ等購入1,620点・・・貸出数 133,470点)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	コピー機利用枚数と計画利用枚数の比較	本年度コピー枚数÷計画コピー枚数*100 74368÷90000*100	コピー機の利用状況を見る		68	83	100	100
	コピー利用者の需用を把握する。	コピー機利用者数/図書資料(CD・ビデオ除く)貸出利用者数 11000÷234000*100	図書資料貸出利用者に対するコピー利用者の割合			5	5	5

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	21,498	42,390	14,325	9,467	9,400
	人員・時間数	1.5/年	7,900H	13,305H	13,305H	13,305H
	人件費	12,585	19,538	28,590	28,590	28,590
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	34,083	61,928	42,915	38,057	37,990
特定財源		0	0	0	0	0
対象数		0	16,557	32,056	45,000	55,000
対象の単位あたり経費		#DIV/0!	3.7	1.3	0.8	0.7

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	図書資料をコピーする場合、著作権法の範囲内のものについてコピーが認められておりその中では、利用者のニーズに応じていると考えております。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 当館には、コピー機が2台設置されており、市民ニーズに応じていると考えております。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	生涯学習の機会を充実させていくためには、複写サービスは必要不可欠である。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 複写サービスにより、図書資料がより多くの方々に利用されると考えております。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	複写サービスには、対象者の制限等は設けておりません。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 図書館サービス事業のうち、高齢者や障害者を対象にした事業は、高齢者や障害者のニーズに対応したサービス内容や事業運営を検討することで成果向上が期待できる。	手段	図書館が単独で事業を展開するより、関係機関と相互に協力することにより経費が削減できる。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 特記事項なし
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	図書館サービス事業は、高齢化が進む中で、生涯学習社会の進展に伴い、多様化する利用者のニーズに応えられるよう、関係機関と連携を取りながらサービスの充実に努めていくべきものと考えております。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--